

船舶事故等調査報告書

平成22年7月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第136号	
事故等種類	乗組員負傷	
発生日時	平成21年5月14日 15時45分ごろ	
発生場所	山口県周南市 岩島灯台から真方位012° 1.5海里付近 (概位 北緯34° 00.4'、東経131° 45.4')	
事故等調査の経過	平成21年5月20日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 ^{アジア} ^{ウインド} ASIAN WIND、4,769トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 9179971 (IMO番号)、CORAL NAVIGATION PANAMA S.A.</p>	
乗組員等に関する情報	船長、フィリピン国籍、船長免状 二等航海士、フィリピン国籍、二等航海士免状	
死傷者等	左橈骨及び尺骨開放骨折等（三等機関士）、右下腿開放性骨折等（甲板員） なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は、船長、二等航海士ほか15人が乗り組み、山口県徳山下松港内において錨泊中、救命艇訓練を終え、ダビットウインチ付き手動ハンドル（以下「手動ハンドル」という。）を使用して救命艇の格納作業中、平成21年5月14日15時45分ごろ、手動ハンドルが急回転し、三等機関士と甲板員が負傷した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 3、視界 良好 風浪 1、海象：潮汐 下げ潮中央期	
その他の事項	本船は、救命艇内からの遠隔操作によってダビットウインチのブレーキ（以下「ウインチブレーキ」という。）を緩めるワイヤ（以下「リモコンワイヤ」という。）が取り付けられていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、徳山下松港において、二等航海士の指揮下、三等機関士及び甲板員が手動ハンドルを使用して救命艇の格納作業中、救命艇内のリモコンワイヤが押されてウインチブレーキが緩み、救命艇が落下して手動ハンドルが急回転し、三等機関士及び甲板員に当たったことにより発生した可能性があると考えられる。</p> <p>救命艇内のリモコンワイヤが押された状況については、乗組員の口述が得られなかったため、明らかにすることができなかった。</p>
原因	本事故は、本船が、徳山下松港において、二等航海士の指揮下で三等機関士及び甲板員が手動ハンドルを使用して救命艇の格納作業中、ウインチブレーキが緩んだため、手動ハンドルが急回転して三等機関士及び甲板員に当	

	たつたことにより発生した可能性があると考えられる。
--	---------------------------